

県外派遣報告書

審判員名	小柳 幸子	所属	ミニ連
大会名	平成25年度 関東高等学校バスケットボール新人大会 兼 平成26年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技 リハーサル大会		
期間	平成26年2月7日(金)～9日(日)		
会場	船橋市総合体育館 ・ 八千代市市民体育館		
スケジュール			
期 日	内 容	場 所	
2月7日(金)	審判会議	八千代市緑が丘公民館	
2月8日(土)	1・2回戦	男子:船橋市総合体育館 女子:八千代市市民体育館	
2月9日(日)	雪のため中止		
会議 講義 内容			
<p>【歓迎のご挨拶】 千葉県バスケットボール協会副会長:西田譲氏、理事長:大野健男氏、審判委員長:佐藤誠氏より、若手育成の為に、自らの背中を見せて、貢献して欲しい。また、10年のうちに大きな大会が3回開催されるが、どうでも良い試合は一つも無い。無事に終わらせられるよう、臨んで欲しいとのお話を頂きました。</p> <p>【関東協会ご挨拶】 関東バスケットボール協会審判委員長:安西郷史氏より、恵まれている環境で沢山のお手本がある、頭でっかちにはならず、現場に足を運び、目の前をしっかり判定する事。また、フロアキーパーへの気配りの必要性、責任を背負って臨み、成功に終わるよう努力して欲しいとのお話を頂きました。</p> <p>【講義】 指名審判員:野口浩正氏、山崎人志氏より テーマ”自分をほんの少し変えて”</p> <p>①気づく力…気づき、足を使い、判断⇒確認⇒判定に繋がる。気づくのが遅れると、対応・確認ができず判定に影響が出る。何も気づかない事が大問題である。気づく努力が必要。過去の情報・周りの情報も大切だが、ゲーム中の情報が一番大事である。パートナーと協力して、気づきを増やし、安心せずに、足を運んで判定しなければならない。</p> <p>②プレッシャー、不安と戦う力…不安を少なくする為には、ルール・マニュアルの理解、技術の理解、フィットネスの準備が必要。辛い経験が強さになる。背伸びはせずに、目の前を踏ん張る。どんなゲームでも課題を持ってコートに立ち、チームの努力を汲みリスペクトして、真摯な態度で臨む。情報はあっても、先入観を持たず白紙に戻して、素直に判定に臨む。</p> <p>最も重要なのは、強い気持ち！自分を少し変えてhappy end!になれるように。</p>			

実技			
担当試合	期 日	2月8日(土)14:00~	女子
	対戦カード	県立旭(神奈川) VS 作新学院(栃木)	主審 副審
	相手審判	相木 康岳 氏(千葉)	
ミーティング内容		主任 中嶽 希美子 氏	
<p>ゲームの始まりでのブロックショットの判定について、理解不足。シリンダーを確認し、判定基準をきちんと示す必要がある。確認不足にならない為に、きちんと確認できる位置に足を運び、行かなければいけないものをきちんと区別して判定できる位置に動くようにする。積極的に判定しなければいけない所は、逃げずに判定する事。A級・主審として、1試合を通してしっかりと基準を示せる力をつける事。トラヴェリングについても、取り上げるべきものが判定できていない。確認できるようにする。</p>			
<p>全体の感想</p> <p>審判会議の講義であった通り、目の前の判定に強い気持ちで臨む為の準備が不足していたと思います。見えた物を考えすぎず、素直に判定できるよう、ルール・マニュアルを再度確認して、整理したいと思います。チームの意図も読めず、一貫した判定基準が示せなかったのは、気づく事ができなかった多くの部分が原因だと思うので、今後、修正していきたいと思います。</p> <p>今回も、このような機会を頂き、埼玉県の皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。今後の活動・育成にもこの経験を生かし、努めて参ります。</p> <p>また、悪天候の為2日目中止となり、本大会の為に色々ご準備頂いた千葉県の皆様にとっては、非常に残念なこととお察し致します。色々ご配慮を頂き、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>			